

こんにちは  
日本共産党です

# TX沿線巨大開発一木地区区画整理事業

## 巨額の税金投入も 先行き『真っ赤』!?

日本共産党流山市議団  
高野 とも 7155-1683  
いぬい紳一郎 7159-2773  
小田桐たかし 7154-0878  
徳増 きよ子 7148-6871  
市議団事務所  
TEL/FAX 7157-6140



木地区内の工事現場

県住宅公社も投げ出した大規模開発  
H16年2月、木地区の事業施行者だった千葉県住宅供給公社は、

### 4年間で12億5千万円を予算化

流山市の南端にあたる木地区では、東京ドームの約13個分にもなる大規模開発（区画整理事業）が進められています。いま大きな岐路に立っています。

569億円もの債務超過を理由に、特定調停を申立て、木地区事業からも撤退しました。当時の千葉日報は「傷口広げた放漫経営、県民の財産扱う自覚を」と批判しました。

その後、千葉県の直接施行となりましたが、経済不況と県財政の悪化の中、大きな岐路に

### 土地の買い手がつかない！

ところが、経済不況の影響で、土地の買い手がつきません。昨年11月の保留地販売（約3・8畝、最低価格73億円）は、入札参加者がなかったため、売れ残って入札を延期しました。木地区区画整理事業

### 木地区事業へ投入する市費予算額の推移

予算(千円)	H18	H19	H20	H21
整備事業費	69,751	76,316	151,258	196,275
上水道関連	35,337	56,206	26,045	69,707
下水道関連	5,200	52,000	484,000	36,000
合計	110,288	184,522	661,303	301,982

立っています。にもかかわらず、井崎市長は、4年間で12億5千万円もの市税を予算化。最優先課題としています。

は総事業費289億円のうち、開発で生み出した住宅用地などの処分収入で事業費の8割（約230億円）をまかなわなければなりません。つまり、土地が1割売れ残るたびに、23億円の赤字がうまれる計算になるのです。

### 水道整備 6年間でわずか24%

では、事業の進捗状況はどうでしょうか。木地区内の上水道配水管整備は、H26年度の完成予定に対し、現在の進捗率は、事業開始から6年間でたった24%です。過去の実績から

の完成予定に対し、現在の進捗率は、事業開始から6年間でたった24%です。過去の実績から

配水管総延長	18,513.0 <small>延</small>
H19年度末整備済延長(決算)	3,055.9 <small>延</small>
進捗率(決算)	16.5%
H20年度末整備済延長(実績)	4,575.1 <small>延</small>
進捗率(実績)	24.7%
残延長(A)	13,937.9 <small>延</small>
配水管整備の単年度実績平均(B)	762.5 <small>延</small>
整備実績から試算される完成年度(A/B)	18.2年

### 県住宅公社の保有地を活用し、住民のくらし・営農を守れ

#### 住民のくらし・営農を守れ

事業のあり方が問われているいま、地区内の小規模宅地や農家では、工事騒音とホコリに加え、自宅の改修や土地の利活用が制限され、営農もままなりません。日本共産党は、事業を途中で投げ出した県住宅公社の保有地を活用し、地権者の暮らしと営農を守ることを優先すべきだと考えます。やみくもに事業を進めた県・市の行政責任を明確にし、情報公開の徹底、地権者・専門家を含めたまちづくり検討会の設置など、根本的見直しがいまこそ必要ではないでしょうか。